

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会 長 函 師 義 孝
 副 会 長 石 田 喜 克
 幹 事 山 口 順 一
 例 会 日 毎 週 木 曜 日 12:30~
 例 会 場 ホ テ ル 泉 屋 2F
 事 務 所 宮 崎 県 児 湯 郡 高 鍋 町 大 字 北 高 鍋 1368-4
 ホ テ ル 泉 屋 内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1758 回 平成 24 年 10 月 11 日 プログラム

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング
我らの生業 | 8. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. 外部卓話 |
| 4. 会長の時間 | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 山下 皓三

中部分区ガバナー補佐 池田 豊繁

2730 地区テーマ

夢・誇り・挑戦 (素晴らしいロータリーの再生)

高鍋ロータリークラブテーマ

「絆」 原点を見つめて一思いやりの心で

10月の月間テーマ

職業奉仕・米山月間

本日の例会案内 * 血圧測定
 * 米山月間卓話—元米山奨学生 李偉様
 * 例会終了後プログラム委員会

次週例会案内; 10月18日 (1759回)
 職場訪問 = 川南漁港
 13:00 ホテル泉屋出発

第 1757 回 例会内容

■会長の時間

会長 函師義孝君

皆さんこんにちは。
 一週間のご無沙汰で
 ございます。

先週は観月会で素晴
 らしい月の元、親睦委
 員会の計画で楽しいひ
 とときでした。ありが
 とうございました。



今月は職業月間・米山月間です。ロータリーは各月毎
 に強調月間が決められていますが、その中で職業奉仕は
 社会奉仕と並んでロータリーの金看板です。この機会に
 職業奉仕についてもしっかり学んで参りましょう。ロー
 タリーは入りて学び、出でて奉仕とよく言われています。
 実直に学んでいきたいものです。

さて、随分涼しくなってきました。食欲の秋です。健
 康には皆さん気をつけておられると思います。朝、昼、
 夜と栄養バランスのとれた食事をされ、自分の体の管理
 をされていると思います。そして、私の場合毎日の焼酎
 があります。これまで健康体を維持できているのもそう
 かもしれません。健康管理は栄養面だけでなく精神面の
 ケアもあわせて必要といえます。世の中自分にとって
 都合のよいことばかり起きないのが現実です。

幸いしたと思ったことが不運に繋がったりしたことを
 誰でも経験したことがあると思います。しかし、その時々
 の現象に一喜一憂してしまうのが人間です。安易に喜ん
 だり悲しみすぎたりせず、楽しく人生を歩んでいきたい
 ものです。今日もロータリーを楽しんで下さい。

■幹事報告

幹事 山口順一君

<文書案内>

* 3クラブ合同研修会案内
 日時 24年10月27日(土)
 15:00~研修会
 17:20~懇親会
 場所 コンベンションセンター~
 サンホテルフェニックス
 懇親会費 5,000円



■出席報告

出席委員長 石井秀隣君

会 員 数	49名
出 席 会 員 数	39名
ホ ー ム 出 席 率	81.25%
前々回修正出席率	83.33%

10月25日(木)は100%出席の日です。
 会員の皆様の全員出席をお願いします。

☆月初めのセレモニー

♡誕生日おめでとう♡



図師君、井上君、黒木君、山口君、長谷川君、森本君

♡結婚記念日おめでとう♡



松尾君、山口君、福本君

☆BOX披露

親睦活動委員会 野田俊一君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

図師義孝君 誕生日祝いの
お返し。ありがとうございます。
頑張ります。

山口順一君 誕生日祝、結
婚記念祝のお礼。30年間
良く我慢してくれています。

旅行にでも連れて行ってやりたいです。

茂木晃君 米山月間に因んで。

黒木敏之君 誕生日祝のお返しとして。

井上博功君 誕生日祝のお礼。ありがとうございます。

福本幸良君 結婚記念祝のお返し。

この度は私の母の通夜式及び告別式にお忙しい中、ご
弔問頂きありがとうございました。又、生花や弔電ま
で頂き、お陰様をもちまして盛儀に執り行うことがで
きました。本当にありがとうございました。

松尾正博君 結婚記念祝ありがとうございました。

坂田師通君 素晴らしい観月会でした。ありがとうございます
いました。

森本直樹君 誕生日祝いのお返し。有難うございます。

今年で40歳になりますので大人になります。



親睦活動委員長 橋口君

■会員卓話

石井秀隣君

本格的に油絵の勉強
を始めて今年で60年
になります。

この60年間、かな
りの水準の作品を表現
し続けてきました。

私にとってはこれが
「職業を通して社会へ
の奉仕」に当たると思っています。

美術を職業にするということは、やはりあまり一般的
な事ではないので、当時では、私以外の他の学生は、大
多数の者が中学の2年生ではお進路を決めて、中学、高校
と5年間の美術の受験勉強をしてきていました。私は、
ただの1時間も美術の受験勉強をせずに受験したのです。
当然最下位だったと思っているのですが、40年経っ
た頃、自分は大学の4年間の10倍もの時間勉強を続け
ているので、もう石井秀隣の世界で皆と勝負ができると思
いました。

60年経った今、全国的な画展で、級友の名前を見る
ことができなくなりました。若い頃は絵の才能というの
は単に、「絵が上手いこと」と思っていたのですが、いつ
の頃からか「どれだけ永く創作が出来るか」ということ
だと思ふようになりました。

私の作画方法は制作にかかって仕上げまで約3ヶ月か
かります。その為に下絵を50枚描けという指導を受け
ました。構図を変え、色彩を変えて50枚描くわけです。

50通りの考え方が出来るということは、よほど頭を
やわらかくしておかねばならないわけで、私は20通り
ぐらいしか出来ません。絵は真白い画面に向かった時に、
そこに完成した作品がはっきり観えます。そうなるよう
に順を追って描いていくのです。

世の中には不思議な事があるわけで、だから芸術が存
在出来るのですが、イタリアやミラノにサンタ・マリア
デレ・グラツェ教会というのがあってそこにダ・ビンチ
の「最後の晚餐」の壁画があります。第二次大戦で教会
は破壊されて、文字通り「がれきの山」になっています。
教会は影も形もありません。その時の写真が展示されて
いますが、その中で絵の描かれた壁だけが一面残ってい
るのです。砂袋で守ったという話もありますが、とうて
い信じ難いことでした。今はきれいに復元されています。



木浦広報雑誌 IT 委員長



田中地区研修小委員会委員長